

令和 2 年 3 月 17 日

国勢調査の匿名データの「有用性に関する情報」の提供について（案）

国勢調査の匿名データの有用性については、利用者が匿名データの特徴を把握することを目的として、平成 22 年及び 27 年国勢調査の匿名データの提供開始時に併せて有用性に関する情報を提供する予定である。

前回の本会議（令和元年 11 月 27 日開催）において、有用性に関する情報として、国勢調査の匿名データに基づく基本統計量と調査結果の比較方法について、指摘のあったカイ二乗検定量及びコルモゴロフ＝スミルノフ検定統計量の検討を行った。

1. 検討した情報

- **カイ二乗検定量**（資料 2 - 1）
年齢、労働力状態、産業、家族類型及び世帯人員の 5 項目について、当該検定量を算出した。
- **コルモゴロフ＝スミルノフ検定統計量**（資料 3）
年齢（5 歳階級）について、当該検定量を算出した。

2. 今後の予定

（1）平成 22、27 年国勢調査の匿名データの提供開始時に提供する情報

- **構成割合**（資料 4 - 1）
現在提供している構成割合について、前回の本会議で提示した資料より「調査結果と匿名データの差」は削除し、男女で構成割合に差がないものについては総数のみに変更し提供する。
なお、個人に関する項目「年齢」については中位数についても提供する。
また、情報を提供する地域については、全国、神奈川県、鳥取県及び新潟市の 4 地域に絞って提供を行う。
- **トップコーディングを行った階級**（資料 4 - 2）
トップコーディングを行った階級が地域ごとに異なる項目について、トップコーディングを行った階級に関する情報を提供する。
- **調査票の項目名と提供項目の名称の違い**（資料 4 - 3）
調査票上の項目名とデータレイアウト・符号表上の提供項目名に違いがあるものについて、対応表を提供する。

（2）提供方法等の検討

今回検討を行ったカイ二乗検定量及びコルモゴロフ＝スミルノフ検定統計量を含め、提供方法等について検討を行い、令和 2 年度前半までに検討する。